



## 未来を夢見て Season 2

2021/7/5 No. 86

### 教師は授業で勝負する～授業づくりのベースは学級づくり～

6月14日（月）から行われていた教育実習が7月2日（金）をもって無事終了しました。教育実習生の先生は国語の研究授業で子供たちに動作化させたり、映像を見せたりとこれまで学んできたことたくさん取り入れながら、授業に惹き付ける工夫をして実践してくださいました。私たち教職にあるものは、教員免許取得のために教育実習は必須です。今回、皆さんも教育実習生の先生の様子からご自分の教育実習の経験を思い出した方も多いかと思います。そういう意味では「初心」に戻って、また子供の前に立つことができたのではないのでしょうか。3週間指導にあたっていただいた西條先生はじめ1年生の先生方、本当にお疲れ様でした。



そして、時期を同じくして、校内研究の授業実践が4年生からスタートしました。7月6日（火）の猪股先生の代表授業の前に、28日（月）田代先生、7月1日（木）には三浦先生が事前授業を行ってくださいました。小野小学校の校内研究のよさは、学年が中心になって実践を重ねていくこと。4月に着任されたばかりの三浦先生が、本校の研究の手法を理解し、そして自分のものとして授業作りを行っていることには感心させられました。研究推進のメンバーの皆さんには、今年度は昨年度の反省を生かし、全職員で授業や検討会に参加することができるよう工夫をしていただきました。一層校内研究が活性化していくことを心から願っています。



また、29日（火）には、伊藤先生とマーク先生が5年4組で英語の授業を提案してくださいました。この企画は、同じように英語専科で取り組んでいる、大郷小・大衡小の校長先生方から依頼され、共に学ぶことを目的に実施したものです。伊藤先生の明るいお人柄とマーク先生の親しみやすいお人柄で、子供たちは十分に英語でコミュニケーションを楽しむことができました。

授業後には、校内の先生方も10名程度参加していただいた中で、仙台教育事務所管内の英語の学力向上指導教員でもある堀田先生から、小学校外国語活動の授業作りのポイントについて講話をしていただきました。どうしても英語は専門性が求められる、英語はちょっと取り組みづらい・・・などと苦手意識をもつ先生方も多いことと思いますが、堀田先生の講話で印象的だったのは、要は「学級づくり」。堀田先生の英語での学級づくりには、非常に共感できる要素がたくさんありました。

いつの間にか7月。気付けば夏休みも近くなってきて、もうひと頑張りです。授業や校内研究について悩んだり、仲間と相談したりできることは実は教師として一番幸せな時間であることを実感しながら、先生方の頑張りに心から拍手を贈ります。

（文責：手代木）